



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月6日  
上場取引所 東

上場会社名 東邦化学工業株式会社  
 コード番号 4409 URL <http://www.toho-chem.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中崎 龍雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理本部長 (氏名) 井上 豊 TEL 03-5550-3735  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	32,267	12.7	1,788	18.4	1,865	190.5	1,279	—
29年3月期第3四半期	28,624	△2.9	1,509	111.0	642	46.0	△172	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,738百万円 (—%) 29年3月期第3四半期 △286百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	60.00	—
29年3月期第3四半期	△8.09	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	50,041	11,868	23.6
29年3月期	46,687	10,260	21.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 11,792百万円 29年3月期 10,182百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,500	10.2	2,250	1.6	1,950	25.2	1,200	277.4	56.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	21,350,000株	29年3月期	21,350,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	21,945株	29年3月期	18,832株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	21,329,650株	29年3月期3Q	21,332,688株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、世界経済の緩やかな回復を受けて輸出が増加基調を維持、国内では、堅調な企業の生産活動を反映して設備投資が増加、個人消費も雇用・所得環境が改善するもとで底堅く推移するなど、外需・内需共に緩やかな回復が続きました。

化学業界においても、石油化学製品の需要が国内外で堅調に推移し、国内エチレンプラントも高稼働が続くなど、良好な環境が続きました。しかし、一方で、原油価格が第2四半期を底に上昇に転じつつあり、今後の原材料価格への影響が懸念される所です。

このような経営環境下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、界面活性剤セグメントのトイレタリー用界面活性剤分野や、スペシャリティーケミカルセグメントの電子材料関連分野など、幅広い分野で販売が増加し、前年同期比36億42百万円、12.7%増収の322億67百万円となりました。

利益面は、原材料価格の上昇に伴う原料費コストの増加や、東邦化学(上海)有限公司における営業損益黒字化の遅れの影響があったものの、増収による収益効果により、これをカバーし、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益、共に前年同期比で増益となりました。特に、経常利益については、前年同期に比べ為替差損が大幅に縮小したため、また、親会社株主に帰属する四半期純利益については、2期連続で発生した厚生年金基金解散に係る特別損失が当第3四半期連結累計期間はないため、それぞれ大幅な改善となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、前年同期比2億78百万円増益の17億88百万円、経常利益は、前年同期比12億23百万円増益の18億65百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、12億79百万円(前年同期は1億72百万円の損失)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

## (界面活性剤)

トイレタリー用界面活性剤は、一般洗浄剤の大口ユーザー向けが伸長し大幅な増収となりました。プラスチック用界面活性剤は、主力の帯電防止剤や乳化重合剤が堅調に推移し増収となりました。土木建築用薬剤は、コンクリート用関連薬剤の国内外での販売増加により増収となりました。紙パルプ用界面活性剤は、消泡剤等の需要回復により増収となりました。繊維助剤は、中国市場でのガラス繊維向けの販売が増加し増収となりました。農薬助剤は、海外向けの販売を主体に若干の増収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比22億45百万円、14.7%増収の175億45百万円となり、セグメント利益は、前年同期比95百万円増益の11億91百万円となりました。

## (樹脂)

合成樹脂は、断熱フォーム用ウレタン樹脂や、トナー用原料等の販売増加により増収となりました。樹脂エマルションは、フローポリッシュ用は苦戦したものの、金属表面処理剤等が堅調に推移し増収となりました。一方、石油樹脂は、第3四半期に入り回復基調に転じたものの、前期、原料不足による減産の影響で落ち込んだ大口ユーザー向け販売の回復の遅れを挽回するまでには至らず、減収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比64百万円、3.0%増収の22億11百万円となり、セグメント利益は、前年同期比23百万円増益の53百万円となりました。

## (化成品)

合成ゴム・ABS樹脂用ロジン系乳化重合剤は、海外販売が低調で減収となりました。石油添加剤は、潤滑油添加剤等の海外販売が引き続き堅調で増収となりました。金属加工油剤は、水溶性切削油剤の大口ユーザー向け販売増を主因に大幅な増収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比2億22百万円、5.0%増収の46億61百万円となりました。セグメント利益は、ロジン系乳化重合剤の販売落ち込みが影響し、前年同期比1億円減益の1億69百万円となりました。

## (スペシャリティーケミカル)

溶剤は、一般溶剤での需要回復やブレーキ液基剤等の伸長で増収となりました。電子・情報産業用の微細加工用樹脂は、半導体関連向けが好調で増収となりました。アクリレートは、電子情報材料関連の中国市場での販売が伸長し大幅な増収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比11億3百万円、16.5%増収の77億75百万円となりました。セグメント利益は、アクリレートの中国での原料高騰の影響で、前年同期比26百万円減益の3億22百万円となりました。

なお、上記の各セグメント利益の前年同期比の数値は、後記P. 9 (セグメント情報) 「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」の表における「報告セグメント」の比較情報です。

その他に、各セグメントに帰属しない調整額(棚卸資産の調整額等)が12百万円(前年同期は△2億69百万円)あります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、500億41百万円と前期末比33億53百万円の増加となりました。その内訳は、流動資産が32億11百万円増加の296億27百万円、固定資産が1億42百万円増加の204億14百万円です。

流動資産の主な増減要因は、現金及び預金が13億7百万円の増加、受取手形及び売掛金が19億46百万円の増加、たな卸資産が3億39百万円の増加、未収入金の減少を主因とするその他(流動資産)が3億83百万円の減少です。

固定資産の主な増減は、有形固定資産が3億40百万円の減少、投資その他の資産が4億98百万円の増加です。

一方、負債合計は381億73百万円と前期末比17億45百万円の増加となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金が13億39百万円の増加、短期借入金が7億56百万円の増加、未払法人税等が2億45百万円の減少、賞与引当金が1億94百万円の減少、設備関係支払手形の増加を主因とするその他(流動負債)が6億59百万円の増加、社債(1年内償還予定の社債を含む)が13億円の減少、長期借入金が8億32百万円の増加です。

純資産は、118億68百万円と前期末比16億7百万円の増加となりました。主な増減要因は、利益剰余金が、配当金の支払いと親会社株主に帰属する四半期純利益との差額の11億51百万円の増加、その他の包括利益累計額が4億59百万円の増加です。

その結果、自己資本比率は23.6%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月7日の「平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,026	8,334
受取手形及び売掛金	9,319	11,266
たな卸資産	8,739	9,078
その他	1,330	947
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	26,415	29,627
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,544	7,218
機械装置及び運搬具(純額)	2,786	2,614
土地	3,145	3,145
建設仮勘定	59	412
その他(純額)	1,910	1,715
有形固定資産合計	15,447	15,107
無形固定資産	838	823
投資その他の資産	3,985	4,483
固定資産合計	20,272	20,414
資産合計	46,687	50,041

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,096	8,436
短期借入金	7,146	7,902
1年内償還予定の社債	2,720	1,520
未払法人税等	489	243
賞与引当金	381	186
その他	2,445	3,105
流動負債合計	20,280	21,395
固定負債		
社債	3,200	3,100
長期借入金	6,320	7,152
役員退職慰労引当金	112	—
厚生年金基金解散損失引当金	490	490
退職給付に係る負債	4,643	4,821
資産除去債務	60	61
その他	1,320	1,151
固定負債合計	16,146	16,777
負債合計	36,427	38,173
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	5,868	7,020
自己株式	△4	△6
株主資本合計	8,515	9,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	972	1,394
為替換算調整勘定	992	1,008
退職給付に係る調整累計額	△298	△276
その他の包括利益累計額合計	1,667	2,126
非支配株主持分	78	75
純資産合計	10,260	11,868
負債純資産合計	46,687	50,041

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	28,624	32,267
売上原価	23,488	26,754
売上総利益	5,135	5,512
販売費及び一般管理費	3,625	3,724
営業利益	1,509	1,788
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	50	56
為替差益	—	36
受取技術料	10	190
物品売却益	27	30
その他	35	30
営業外収益合計	125	347
営業外費用		
支払利息	189	197
為替差損	743	—
その他	60	73
営業外費用合計	993	270
経常利益	642	1,865
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	—	5
ゴルフ会員権売却益	—	0
特別利益合計	1	6
特別損失		
固定資産廃棄損	4	1
投資有価証券売却損	2	—
固定資産売却損	3	—
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	490	—
特別損失合計	500	1
税金等調整前四半期純利益	143	1,870
法人税等	313	591
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△170	1,278
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△172	1,279



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△170	1,278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	358	421
為替換算調整勘定	△493	16
退職給付に係る調整額	18	21
その他の包括利益合計	△116	460
四半期包括利益	△286	1,738
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△273	1,739
非支配株主に係る四半期包括利益	△13	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、平成29年6月22日開催の第80回定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う退職慰労金の打ち切り支給を決議いたしました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し、打ち切り支給額の未払分103百万円を「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

## (セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシャ リティー ケミカル	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	15,300	2,146	4,438	6,671	28,557	66	28,624	—	28,624
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	154	154	△154	—
計	15,300	2,146	4,438	6,671	28,557	220	28,778	△154	28,624
セグメント利益	1,095	29	269	348	1,744	35	1,779	△269	1,509

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 △269百万円には、棚卸資産の調整額 △277百万円等が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシャ リティー ケミカル	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	17,545	2,211	4,661	7,775	32,193	73	32,267	—	32,267
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	159	159	△159	—
計	17,545	2,211	4,661	7,775	32,193	233	32,426	△159	32,267
セグメント利益	1,191	53	169	322	1,735	39	1,775	12	1,788

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 12百万円には、棚卸資産の調整額 △3百万円等が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。